

液化石油ガス（可燃性ガス 無色・無臭）

分子式	C_3H_8 C_4H_{10} 等	分子量	プロパン：44 ブタン：58	容器の色	指定無し
用途	家庭・業務用燃料、自動車燃料、ボイラー燃料、タービン燃料、加熱炉用燃料、金属表面処理用雰囲気ガス、噴霧助剤、化学用原料				
該当法規	高圧ガス保安法、液化石油ガス法、消防法、労働安全衛生法				
物理的性質	<p>可燃性の無色・無臭のガス、家庭用、工業用等は着臭してある。</p> <p>比重：プロパン 1.55、ブタン 2.08（空気より重い）</p> <p>沸点：-42.1～0.5</p> <p>爆発範囲：1.8～9.5%</p> <p>着火温度：405～550</p>				
化学的性質	<p>化学的に安定であるが、熱分解によりメタンとエチレンになる。</p> <p>完全燃焼すると二酸化炭素と水になるが、不完全燃焼すると一酸化炭素を生成する。</p> <p>油脂類や天然ゴムを溶かすのでガスケット及びパッキン材の選定に注意が必要である。</p>				
注意事項	<p>漏れたガスは空気よりも重く滞留しやすいので、特に通風、換気をよくして爆発性混合ガスにならないように気をつける。</p> <p>特に酸素とは離しておく。</p> <p>充てん容器は、40℃以下になるよう、直射日光を避け、通風の良いところで、転倒、破損が起こらないよう保管する。</p>				

液化石油ガス（可燃性ガス 無色・無臭）

事故時の措置

消火方法	粉末消火器、大量の水	処理剤	
漏えいしたとき	<p>バルブを閉めるなど、漏えいを止める。</p> <p>容器からの漏えいが止まらない場合は、周囲に火気のない通風のよい場所に移動し、容器を直立させる。</p> <p>施設からの漏えいが止まらない場合には、通風をよくして火気を断つ。事故の発生を大声で告げ、避難させる。</p> <p>119番（消防署）に通報する。</p>		
火災のとき ・ 周辺での火災のとき	<p>貯槽の場合、緊急遮断弁を閉止し、散水装置を始動する。容器の場合、粉末消火器で消火するとともに、大量の水で容器を冷却する。</p> <p>周辺での火災のときは、容器を風上の安全な場所に移動する。移動できない場合は、容器及び周囲に散水する。</p> <p>バーナーを使用する加熱炉など、散水することが逆に危険になる設備に関しては、散水は行わない。</p>		
救急処置	<p>液状のガスが皮膚に付着した場合は、凍傷の恐れがあるので、温めのお湯を用いて患部を温め、できるだけ早く医師の処置を受ける。</p> <p>大量に吸入した場合は、患者を直ちにきれいな空気中に移し、呼吸困難の場合は酸素吸入を施す。できるだけ早く医師の処置を受ける。</p>		
特記事項 (人体に対する影響)	<p>液化石油ガス自身には毒性はないが、濃度が高くなると単純窒息性の危険がある。</p>		
緊急通報例 119(消防署)	<p>1 どこで 市 町 番地 (株) 工場で</p> <p>2 なにが 「LPGガス」が</p> <p>3 どうした 「漏れています。(漏れて火災になっています。)」</p> <p> 「消防車出動をお願いします。」</p> <p>4 時間は 時 分 頃 です。</p> <p>5 けが人は 「けが人がいます。救急車出動をお願いします。」</p> <p>6 私の名前は 工場 課の です。</p>		